

トイレ空席管理 IoT サービス「ekul toilet (イークル トイレット)」のサービス開始について

2018年8月21日
大阪ガス株式会社
株式会社バカン

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：本庄 武宏、以下「大阪ガス」）は、株式会社バカン（代表取締役：河野 剛進、以下「バカン」）と提携し、業務用のお客さまを対象とした簡易データ計測サービス「ekul (イークル)」の新たなサービスとして、「ekul toilet (イークル トイレット)」(以下「新サービス」)の提供を2018年9月1日より開始します。

近年、オフィスビルでは一日の大半を過ごす働く空間の快適性が求められており、トイレに対する労働者の要望が高まっています。また、商業施設ではトイレの快適性が再来店に大きく影響することなど、オフィスビルや商業施設等の業務用のお客さまのトイレへの関心が非常に高まっています。Daigasグループでは、業務用のお客さま向けにガス・電気に加えて、お客さま施設等の快適性、利便性向上に向け、空調・厨房・照明などを提案しており、より効率的に活用するためのIoT・見える化サービスを提供してきました。最近ではトイレ改修も提案しており、より一層快適・安全なトイレ環境を提案するため、業務用のお客さま向けにトイレ空席管理IoTサービスを始めます。

バカンは、オフィスなどのトイレの空き状況を把握できるサービスで2016年6月から事業を開始。センサーやカメラを使って飲食店などの混雑状況を解析し、電子看板に表示できるサービスも展開しています。大阪ガスは、様々なご要望をお持ちのお客さまにいち早くお応えするため、今回はバカンの協力のもと、新サービスの準備を進めてきました。

新サービスは、リアルタイムにトイレの混雑状況がわかるクラウドサービスです。トイレの個室にセンサーを設置し、インターネット上で個室の使用状況の閲覧が可能になります。主な特長は以下の通りです。

1. トイレの空席状況をリアルタイムに見える化

スマートフォンやパソコン等に対応したシンプルで直観的なインタフェースで、リアルタイムにトイレの混雑状況がわかります。事前に空席確認をすることができるため、時間ロスやストレスの軽減につながります。

2. 滞在時間の把握などセキュリティ対策への活用

管理者は、トイレの各個室の使用状況をリアルタイムで確認することができます。また、長期滞在者がいる場合は、警告表示やアラートメールを受け取ることが可能です。それにより、不審者のトイレ潜伏、利用者の体調不良などの可能性を示唆し、早期対応が可能になります。

3. 安価で導入しやすいクラウドサービス

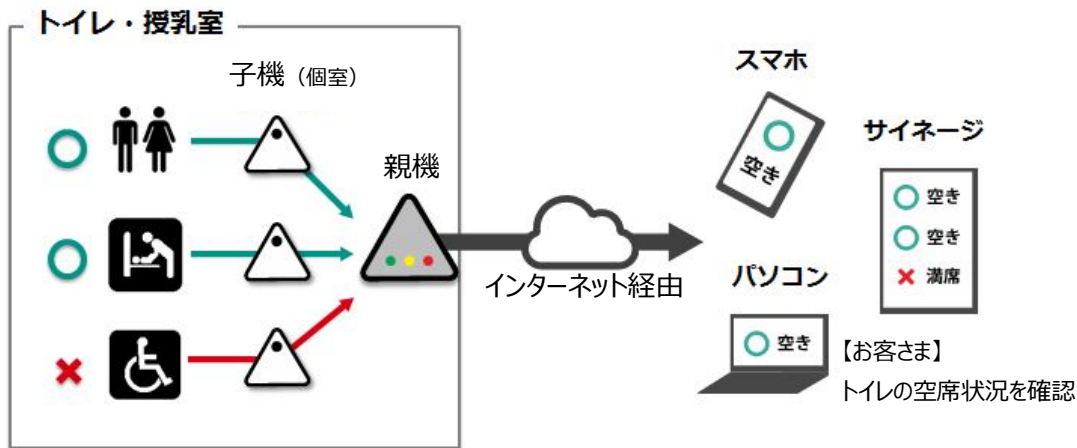
設置するセンサーはトイレのドア部分に固定するだけなので簡単に設置することができます。また、センサー類や閲覧者の設定も容易なため、安価なサービス導入・利用が可能です。

両社は今後も、AI・IoTなどの最新技術を活用し、お客さまのビジネス拡大や課題解決に役立つサービスの拡充を目指してまいります。

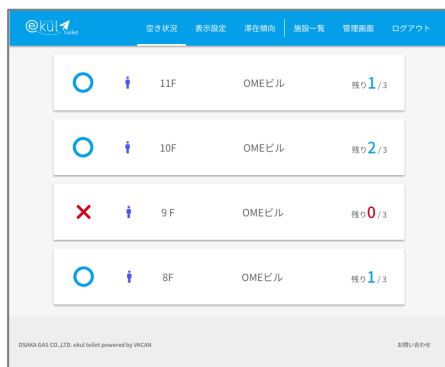
■ 「ekul toilet (イークル トイレット)」 サービスについて

(1) サービス開始日
2018年9月1日

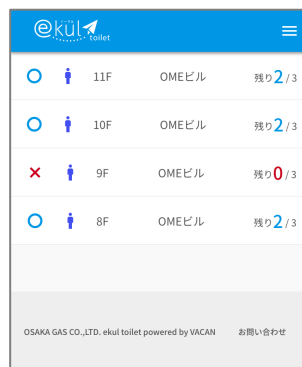
(2) サービスイメージ



(3) 画面イメージ
(パソコン)



(スマートフォン)



■ 大阪ガスの概要

会社名	大阪ガス株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町4丁目1-2
設立	1897年4月
代表者	本荘武宏
主な事業内容	ガスの製造・供給、LPGの販売、電力の発電・販売 他

■ バカン概要

会社名	株式会社バカン
本社所在地	東京都千代田区飯田橋2丁目12-10 日高ビル2F
設立	2016年6月
代表者	河野剛進
主な事業内容	IT、AI/IoT 関連事業

<参考>

「ekul (イークル)」サービスについて

(1) サービス開始日

2016年7月1日

(2) サービスイメージ

ガス・電気などの使用量をリアルタイムに計測し、気づき情報を即時に発信するサービス。従来よりも安価で導入しやすくしたことに加え、店舗等では来客数や温湿度など、エネルギー以外のデータの計測も可能。



(3) 画面イメージ

(パソコン)



(スマートフォン)



■ 報道関係の方のお問い合わせ先：

大阪ガス (株) 広報部 報道チーム TEL 06 - 6205 - 4515
(株) バカン 社長室 TEL 03 - 6327 - 5533